

横浜市国民健康保険運営協議会 議事録要旨

日 時	平成 30 年 3 月 26 日（月）午後 3 時～午後 5 時
開催場所	関内新井ビル 11 階 A 会議室
出席者	委員 19 名（傍聴者 1 名）

議事 1 平成 30 年度横浜市国民健康保険事業費会計予算について	
事務局	（資料に基づき説明） 歳入、歳出について説明。 保険料率（見込）、1 人あたり保険料及び被保険者数について説明。 歳入、歳出分（グラフ）について説明。
西村委員	今年度と来年度の一般会計の繰入額と今後の収納率の見込はどのくらいか。
事務局	平成 29 年度は約 100 億円、平成 30 年度は約 82 億円である。 また、収納率は約 93.7%を見込んでいる。
齋藤委員	今後の法定外繰入の減少についてお聞きしたい。
事務局	国が求めるように、保険料負担緩和の法定外繰入をゼロにした場合、保険料が急上昇してしまうため、慎重に検討していきたい。
議事 2 国民健康保険制度改正の予定について	
事務局	（資料に基づき説明） 横浜市国民健康保険財政調整基金条例の制定について説明。 低所得者の保険料負担軽減の拡大について説明。 高額療養費自己負担限度額の見直しについて説明。
山本委員	平成 30 年 8 月からの高額療養費について、現役並み所得者の区分では入院と外来が一律になったということか。
事務局	その通り。
石井委員	平成 30 年 8 月からの高額療養費で自己負担額が上がる人は、どのくらいいるのか。
事務局	細分化後の 3 つの区分についての割合は出していないが、横浜市では現役並み所得者は 12%ぐらいいる。
寺師委員	国民健康保険と社会保険の保険料の差はどのくらいか。
事務局	国民健康保険は高齢者や低所得者が多いため、所得に対する保険料の負担割合は国民健康保険の方が高い。
議事 3 横浜市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス）及び特定健康診査等実施計画について	
事務局	（資料に基づき説明） データヘルス計画等に関する市民意見募集の実施結果の概要等について説明。
寺師委員	意見に対しては、どのように取り組んでいくのか。
事務局	ご意見を参考にしながら、6 カ年計画の中で取り組んでいきたい。

山本委員	<p>特定健診を周知することが必要。無料化したことについて、区民まつりなどで広報してはどうか。</p> <p>また、医師会に対しては保険者としてデータの収集が必要ということを説明すべき。</p>
事務局	<p>しっかり取り組んでいきたい。</p>
齋藤委員	<p>無料化はいつからか。</p>
事務局	<p>4月から無料化が始まる。5月下旬に受診券を発送する予定のため、実際に医療機関に受診するのは6月ぐらいだと思う。</p>
杉山委員	<p>実際に受診した方の意見を広報できたら、受診率向上するのではないか。</p>
藤倉委員	<p>休日診療をしているが、受診者はそれほど多くない。</p> <p>周知をインターネット等で行ってはどうか。</p>
事務局	<p>年代の特性に合わせた受診勧奨など、今後の課題として考えていきたい。</p> <p>保険者として国保加入者の特定健診を実施していただくだけでは、地域の保健事業が進んでいかないため、関連する地域の方、三師会のご協力をいただきながら、地域の状況を踏まえつつ取り組んでいきたい。</p>
大久保委員	<p>今回の無料化は受診率向上につながると感じるが、このことに加えて、もっと気軽に受診できる場所があればよい。</p>
議事4	<p>その他の報告事項について</p>
事務局	<p>次回の運営協議会の開催日程については、調整のうえ改めてご連絡差し上げる。</p>